

# Oh!Me

インターネットと連動した【滋賀生活情報紙】



## 新毎日新聞

この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

滋賀ガイド [www.gaido.jp](http://www.gaido.jp)

vol.493・12月5日号 毎週木曜発行 **4面にプレゼント情報!**

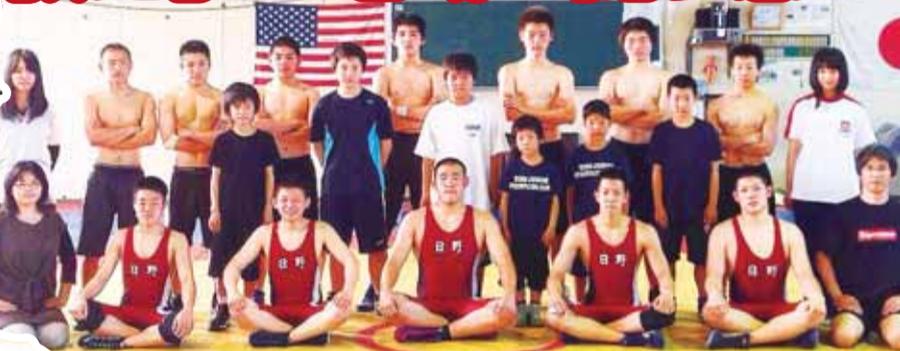
●Oh!Me編集室/株式会社ヤマブラ:近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927  
●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603 発行部数:100,000部  
●発行/毎日新聞大阪本社開発宣伝部:大阪市北区梅田3-4-5

### 幻のレスリング五輪代表 教え子に地域に託す思い



日野高校教員・レスリング部顧問  
地域総合型スポーツクラブ「日野クラブ」代表  
滋賀県レスリング協会理事長

素敵な人 **みなみ としふみ**  
**南 敏文**さん  
(大津市在住・56歳)



レスリングの選手としてモスクワオリンピック日本代表に選ばれながら、運命のいたずらで出場が幻に。やりきれない思いを胸に日野高校の教諭に着任、レスリング部を創部した南敏文さん。以来32年、指導者として数多くのインターハイ出場選手を育て、世に送り出してきた。

#### 五輪「不参加」失意の日々

とにかくオリンピックに出ることだけを考えて生きてきたという南さん。

大学時代、レスリング日本選手権6連覇、国体5連覇を達成。1980年には夢だったモスクワオリンピック出場の切符を手にした。ところが、旧ソ連のアフガン侵攻に対して日本は西側諸国と同調

し、オリンピック不参加を決定。南さんのオリンピック出場は幻となってしまった。仕方なく、目標を81年のびわこ国体に変えて滋賀県の職員になった。目標どおり、びわこ国



体では優勝を手にしたが、しばらくは「燃え尽き症候群」の日々を過ごした。

#### 指導者に見つけた天職

26歳で選手生活にピリオドを打ち、日野高校の教員になったが、もともと教員になりたいという強い希望があったわけではない。

「教師にでもなるか、教師にしかできないという、いわゆる“でも・しか教師”でした」

着任した当時、校内は荒れていた。割れた窓ガラス、中庭に転がるロッカー……ヤンキーと呼ばれるような生徒が多く、良い意味でも悪い意味

でも個性的だった。南さんはさっそく、生徒の生活指導担当を命じられた。非行に走る生徒と取っ組み合いをすることもあった。雪の降る寒い日に、遅刻当番のために校門に立ちながら、辞めようかと悩むこともあったという。着任して2年目、転機が訪れた。顧問をしていた柔道部の生徒たち6人と、レスリング同好会を作った。生徒と一緒に汗を流し、練習が終わってから魚釣

りに行ったりもした。「厳しい練習と、楽しい遊び」、このギャップが良かったのか、徐々に手ごたえを感じるようになった。そして半年後、同好会は「部」に昇格、大会出場が可能になった。目標が定まったことで、生徒もめきめきと成長。創部2年でインターハイの団体ベスト8、個人の部で教え子の園田崇さんが全国2位になった。以来、全国レベルの選手がここから何人も育っていった。

#### 教え子たちと世界目指す

現役時代に訪れた海外では、学校のクラブではなく地域クラブで選手を育てる

のが普通だった。そこではジュニアからオリンピック選手までと一緒に練習をしていた。これを参考に10年前、南さんは卒業生らと地域総合型スポーツクラブ「日野クラブ」を設立した。ここでは園児から大人まで一緒に汗を流している。園田さんの3人の息子も日野クラブに所属し、2020年の東京オリンピック出場を狙えるレベルにまで育っている。「目標に向かって誰でも7〜8割まで頑張れますが、残りの2〜3割を出し切るには、一にも二にも努力以外にはありません」と断言する南さん。努力することで自分の限界点=レッドゾーンに達し、それを越えようとさらに努力をし、伸びていく。限界点を越えたときの達成感とは格別で、この喜びを知ることさらに努力に拍車がかかるという。

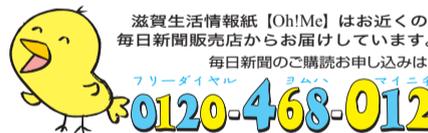


「人それぞれ異なるレッドゾーンを見極め、そのタイミングを見つけて追い込んでやるのが私の仕事です。指導者は生身の生徒のその日の体調や心の状態をきちんと判断し、適切な追い込みをかける職人なのです」(取材・福本)

#### 滋賀県立日野高等学校

●蒲生郡日野町上野田150 ●0748-52-1200

<http://www.hino-h.shiga-ec.ed.jp>



滋賀生活情報紙【Oh!Me】はお近くの毎日新聞販売店からお届けしています。

毎日新聞のご購読お申し込みはフリーダイヤル

0120-468-012

近江高島鮎池元

**吉本**

〒520-0151 滋賀県高島市新旭町葉園一五八八  
電話 0740-2515370  
FAX 0740-2514358  
営業時間/午前10時〜午後6時  
定休日/月曜日

ぜひ一度、ご賞味ください。

この期間、店頭では子持ち鮎甘露煮をはじめ、だんごに試食品をご提供。吉本自身の味を、とくとご賞味いただき、納得のいく商品をお選びください。

クール便にて全国発送承ります(送料別)

謹製 直売

今、この時 ばかりの味、子持ち鮎

寒い季節をあたためる今が旬の子持ち鮎、貴重で多くは出回らないものなのですが、自家養殖池をもつ吉本では、その子持ち鮎を、ふんだんに、こだわりの製法で、美味しく冬のご贈答に仕立てました。

冬の「ご贈答」ご注文承ります。

名代甘露煮 鉄之助子持ち鮎 制箱詰め 5尾入 2,800円(税込)